ユーザーズマニュアル
ver. 1.4 J

COWON A2

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本製品は家庭用であり、営業用には使用できません。
- 本マニュアルのすべての著作権は(株)コウォンシステムが持っており、本マニュアルの一部または全部の無断配布を禁じます。
- JetShell、JetAudioの著作権は(株)コウォンシステムが持っており、当社から書面による同意を得ず無断で配布するか商業的に利用することを禁じます。
- JetShell、JetAudioの変換機能を利用して作成したファイルを個人的な用途以外に商業的に使用するかサービスの目的で使用することは著作権法に抵触する行為です。
- (株)コウォンシステムは音源／ビデオ／ゲーム関連の法令を遵守します。それ以外の一切の成文化された関係法令の遵守は実際使用するユーザの責任です。
- 製品を購入しましたら直ちに http://cowonjapan.comで正式に顧客登録を行うことをお勧めします。正式顧客として登録すると、正会員のみに提供する様々な特典を受けられます。
- ユーザが正式顧客登録を行っていない状態で提起できるすべての類型の異議に対しては、ユーザ個人の判断で正式顧客登録を行っていない自由決定と見なしますので、一部のサービスは制限できます。
- 本マニュアルに記載された例題原文や図表、写真は性能向上のために予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は予告なく変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound, Inc. のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、5510752および5736897によりBBE Sound, Inc. がライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

ホームページの紹介

- 製品関連のホームページはHYPERLINK “http://www.COWON.com” http://cowonjapn.comです。
- ホームページでは当社製品の最新情報や最新の技術を適用したファームウェア、プログラムなどをダウンロードできます。
- 初めて使用するお客様のために別途のFAQと初心者ガイドを提供しています。
- ホームページで会員として加入した後、パッケージの一連番号と製品上のシリアル番号を使用して製品登録を行うと正会員となります。
- 正会員になると、1対1のお問い合わせによるオンラインアフターサービスが受けられ、様々な最新情報やキャンペーンのお知らせも電子メールで受けられます。
- 一連番号は紛失しても再発行しません。必ず製品登録を行ってください。

製品使用時の注意事項

- 本製品は個人的な用途でのみ使用してください。本マニュアルに記載されている目的以外には本製品を使用しないでください。
- 安全のために運転中には映画、写真またはテキストを見ないでください。また、他の機能を使用する場合においてもご注意ください。
- 本製品の表面にソルベント類の強力洗剤や化学溶剤が付着すると変色のおそれがありますので、汚れは柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 冬期など0℃以下の寒いところや、直射日光のあたる車の内部など40℃以上の高温のところに長時間放置しないでください。製品に致命的な損傷が発生するおそれがあります。
- 本製品を水に入れたり、湿気の多いところに長時間保管しないでください。浸水によるアフターサービスに分類され、無償サービスが受けられません。有償でもアフターサービスが受けられなくなります。

また製品がまったく使用できなくなるおそれがあります。

- 本製品をご自分で分解または改造した場合は、無償/有償にかかわらずアフターサービスを受けられなくなります。
- ケーブルを本製品に差し込む際には向きに注意してください。ケーブルを差し込み間違えると、破損のおそれがあります。また、接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物に押された状態で使用することは控えてください。
- 使用途中本製品から異臭がしたり、熱がひどく発生する場合はサポートセンターへお問い合わせください。
- ぬれた手で本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。ぬれた手で電源プラグを持たないようにしてください。※感電の原因となります。
- 大音量で長時間聴くと、聴力に問題が発生するおそれがあります。
- 静電気の発生がひどいところで本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。
- 本製品に保存されたデータは物理的な衝撃や損傷、エラーによって失われるおそれがありますので、重要なデータは必ずバックアップを行ってください。本体の修理のとき製品に保存されているすべてのデータは削除されるおそれがあり、サポートセンターでは製品に保存されているファイルのバックアップは行いません。(株)コウォンシステムはどんな場合でも製品に保存されたデータの損失に対しては責任を負いません。
- 電源アダプタとケーブルは必ず(株)コウォンシステムが提供する物のみを使用してください。
- コンピュータとの接続の際は、必ずパソコン本体のUSBポートまたはUSB HOSTカードのUSBポートだけを使用してください。外部のUSBハブを使用した接続では正常動作を保障しません。

  （例：キーボードのUSBポート、モニタのUSBポート、外部のUSBハブなど）
- 内蔵のハードディスクをフォーマットする場合、ファイルシステムはFAT32にしてください。フォーマット後にはファームウェアのアップグレードの手続きに従ってファームウェアを再インストールしてください。
- 雷などの悪天候時には、落雷や火災の危険性がありますので、必ずPC本体や電源アダプタの電源コンセントを外してください。
- 磁石や直接的な磁界の近くに本製品を置かないでください。故障の原因となります。
- 側面のすべてのポートを同時に接続しないでください。製品の電源が切れたり、故障の原因となります。必ず必要な端子のみ接続してください。

COWON A2とは?

COWON A2は㈱コウォンシステムで製造・生産する「ポータブルマルチメディアプレーヤ(Portable Multimedia Player)」です。1600万カラーを表現する4インチ、16:9比率の色あざやかでワイドなディスプレイを通じていつでも、どこでも映画を見られ、AV入出力端子を使ってテレビ番組を録画したり、テレビで見たりすることができます。
また、高級のデジタルオーディオ機器で採用されているBBE技術を採用し,デジタル処理過程で発生する音源の損失を原音に近く復元して臨場感のある音楽を提供します。写真、テキスト、FMラジオ、内蔵マイクを使ってのボイスレコーディング、ラインインを利用した高音質のオーディオ録音まで、マルチ機能搭載のポータブルAV機器です。

色あざやかでワイドなディスプレイ

480x272ピクセル、1600万カラー4インチワイドTFT-LCDでいつでもどこでも機器の動作状態を簡単に確認でき、見る楽しさをプレゼントします。

大容量のリチウムポリマー充電池で長時間連続再生

4300mAhの大容量のリチウムポリマー充電バッテリを内蔵し、フル充電で動画は最長7～10時間、オーディオは最長18時間連続再生ができます。

動画再生

DivX、XviD、WMVコーデックを内蔵し、ほとんどの動画ファイルを変換することなく再生できます。サポートしない動画ファイルは共に提供するJetAudio VXで簡単に変換して楽しむことができます。

動画録画

外部AV機器（TV、VCR、ビデオカメラ）の映像出力を直接録画し、保存して楽しめます。録画は外部AV機器のAV出力端子を付属のAVケーブルでA2と接続して行います。

様々な音楽フォーマットサポート

MP3、OGG、WMA(ASF)、WAVなど様々な音楽フォーマットに対応しています。また、デジタル音楽の損なわれたハーモニックスを原音に近く復元し、音を鮮明にするBBE技術を採用し、音楽を聴く楽しさがますます広がります。

ボイスレコーディングとダイレクトエンコーディング

内載マイクによるボイスレコーディングと、ステレオケーブルによるダイレクトエンコーディングが可能です。マイクを使って講義を録音したり、ステレオケーブルを使ってCDプレーヤやオーディオ機器から直接A2に録音ができます。

テキストビューアとイメージビューア

4インチのワイド画面はテキストファイルやイメージファイル(JPG、PNG、BMP)をより見やすくします。イメージはスライドショーで見たり拡大して見ることもできます。また思い出の写真を入れてデジタルアルバムとしても活用できます。

FMラジオの受信／録音

FMラジオを聴いたり放送内容の録音ができます。自動選局、国別の設定、25局のプリセット、即時録音や予約録音など便利な機能を提供しています。

全世界が認めた最強の音場
全世界が認めたCOWONならではのパワフルかつデリケートなサウンドを提供します。
下記の音場効果をすべて利用できます。BBE :音を鮮明にする音場効果
Mach3Bass :超低域を強調してくれるベースブースター
MP Enhance :損なわれた音を補正してくれる音場効果
3D Surround :立体音響

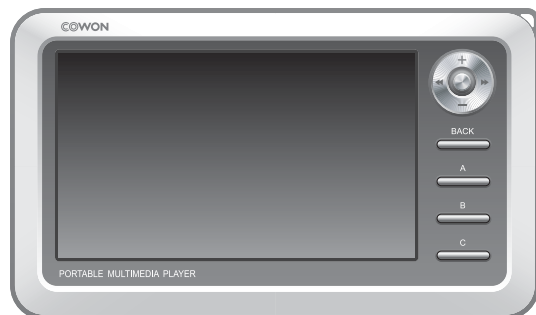
リムーバブルディスク機能とUSB HOST機能
USB 2.0をサポートしますので内蔵のハードディスクにファイルを超高速で転送保存でき、USB HOST端子にUMS対応のデジタルカメラを直接接続し、写真を取り込んで保存したり楽しむことができます。

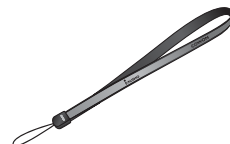
ロゴと壁紙
自分で作ったイメージファイルをロゴや壁紙にして自分ならではのスタイルで楽しむことができます。

便利な時計機能
時間の確認をしたり、アラームや予約録画/録音などができます。

ファームウェアのアップグレードも簡単に
ファームウェアのアップグレード機能を利用して性能を向上できます。継続的にファームウェアのアップグレードを提供することで、ユーザのニーズに応えています。

JetAudio VXを提供
世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアのJetAudio Basic VXを提供します。A2で再生できない動画ファイルの場合、別途のプログラムなしにJetAudioの変換ツールを利用して簡単に変換できます。

パッケージの構成

A2 本体

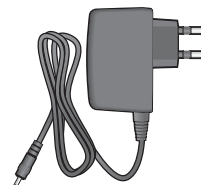
キャリングケース

ストラップ

インストルCD
ユーザーズガイド

イヤホン

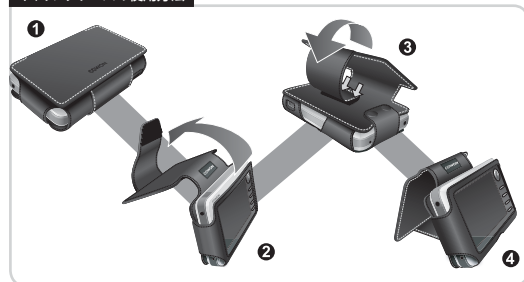
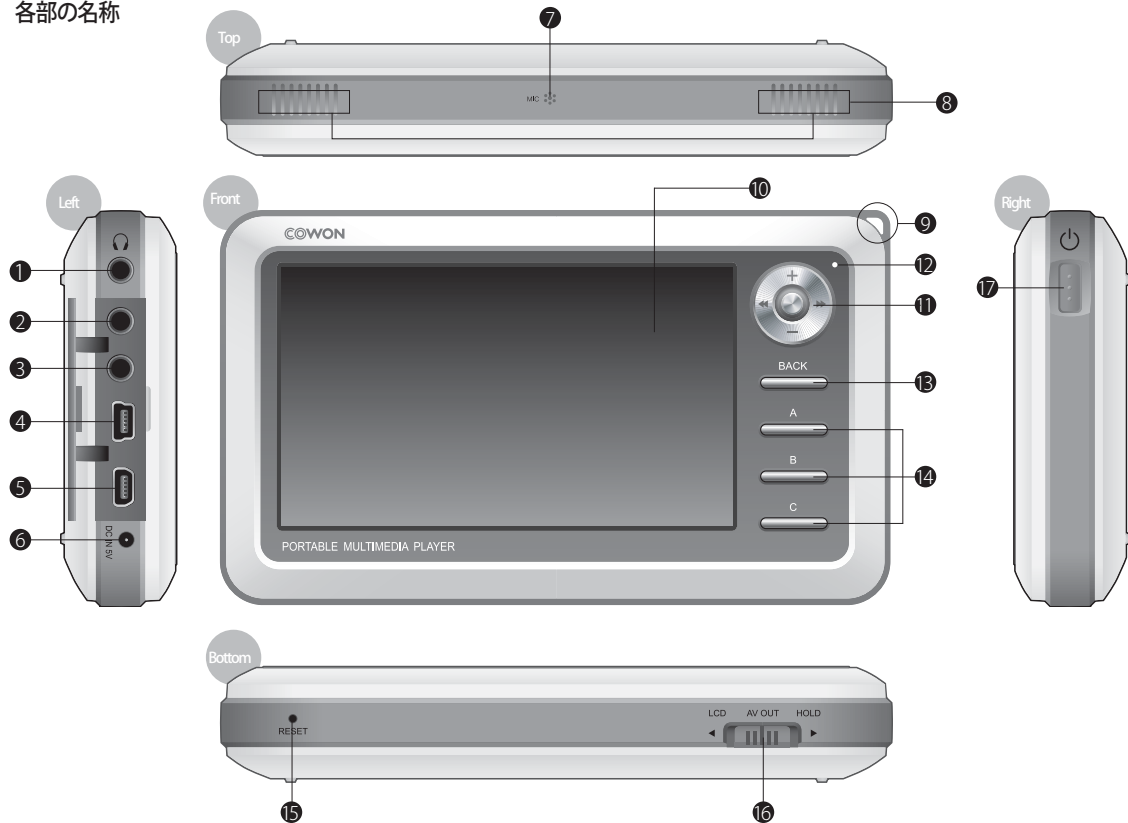
USB ケーブル、ラインケーブル

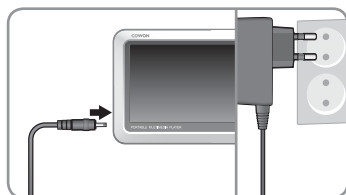
USBホストケーブル

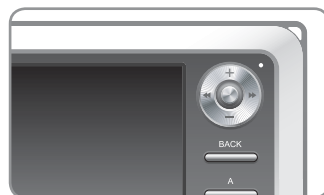
AV ケーブル

AC アダプタ

キャリングケースの使用方法

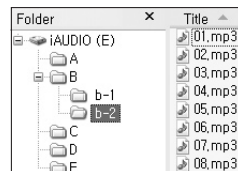
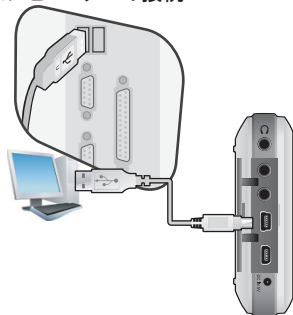
各部の名称

Top
MIC
Left
Front
Right
COWON
BACK
A
B
C
PORTABLE MULTIMEDIA PLAYER
DC IN 5V
Bottom
RESET
LCD
AV OUT
HOLD

❶ イヤホンジャック	: 付属のイヤホンまたは標準3.5mmジャックを使用するイヤホンを使用できます。
❷ AV OUT端子	: AVケーブルを使ってA2の画面をテレビなどの外部AV機器へ出力するとき使用します。
❸ AV IN端子	: AVケーブルまたは、Line-inケーブルを使って外部AV機器で再生している内容を録画または録音するとき使用します。
❹ USB DEVICE端子	: USB 2.0ケーブルを使ってコンピュータと接続しファイルを転送するとき使用します。
❺ USB HOST端子	: USB Hostケーブルを使ってUSB互換機器を接続するとき使用します。
❻ DCアダプタジャック	: 電源アダプタを接続し、A2使用時または、充電するとき使用します。
❼ マイク	: 内蔵のマイクで音声を録音するとき使用します。
❽ スピーカ	: ステレオスピーカが内蔵されていてイヤホンなしにオーディオを聞けます。
❾ ストラップ穴	: ストラップをかける穴です。
❿ TFT LCD	: 情報と再生画面を表示します。
⓫ ジョグレバー	: 上下左右の４方向/押すと、選択またはフアイルを再生します。
⓬ LED	: 機器の状態をシンプルに表示するLEDです。
⓭ BACKボタン	: 選択をキャンセルするか、またはモードから出るとき使用します。
⓮ A、B、Cボタン	: 画面下部のA、B、Cの機能を実行します。
⓯ RESETホール	: 製品の誤動作時に電源を遮断します。単なる電源遮断で、製品には影響しません。
⓰ LCD、AV OUT、HOLDスイッチ	: 画面の出力対象の選択、ボタンホールドおよびUSB充電条件の選択のとき使用します。
⓱ 電源スイッチ	: 短く押してLCD画面の電源を切るか、長く押して電源を入れたり切ったりするとき使用します。

電源を入れて充電

1. 電源アダプタをコンセントと機器の側面にあるDCアダプタジャックに接続します。

2. 充電時にはLEDが赤く点灯されます。

3. 充電が完了すると、LEDは消灯されます。

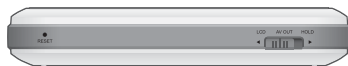
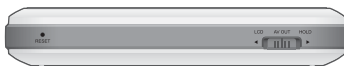
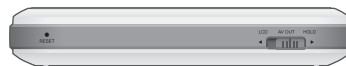
- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、電源アダプタで十分充電してから使用してください。
- 放電期間が長い場合はアダプタを接続しても即時に充電されず、赤色のLEDも点灯しないことがあります。しかし、それは正常な充電過程であり、充電が完了するまで長時間がかかります。
- 安全な使用のため付属している電源アダプタのみ使用してください。

コンピュータへの接続

1. 付属のUSBケーブルで機器のUSB DEVICE端子とコンピュータのUSBポートを接続します。

2. 正しく接続されたらLCDに次の図が表示されます。

3. マイコンピュータおよびWindowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

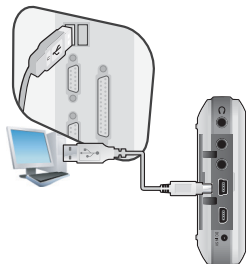
コンピュータで充電

コンピュータに接続し、下部のLCD、AV OUT.、HOLDスイッチの位置に応じてUSB DEVICE端子を通じて充電することができます。

LCD位置にある場合
リムーバブルディスクと認識し、充電が行われず、バッテリを消耗します。

AV OUT位置にある場合
リムーバブルディスクと認識し、充電が行われ、バッテリを少なく消耗しますが、認識速度が遅いです。

HOLD位置にある場合
コンピュータでは認識せず、単にUSBポートを通じて充電だけ行われます。(充電完了まで約15時間掛かります。

- リムーバブルディスクとして使用するときは、安定的な電源供給のため電源アダプタを接続してください。
- USBハーブを使用すると、充電が行われないか、誤動作するおそれがあります。かならずコンピュータ本体にあるUSBポートに接続してください。

Windows 98SE ドライバのインストール

Windows 98SEを使用する場合、最初にコンピュータと接続するとき別途のドライバのインストールが必要です。

1. コンピュータのCD-ROMドライブに付属のインストールCDを挿入します。CDがない場合は、www.cowonjapan.comの資料室からドライバをダウンロードしてください。

2. 付属のUSBケーブルで機器のUSB DEVICE端子とコンピュータのUSBポートを接続します。

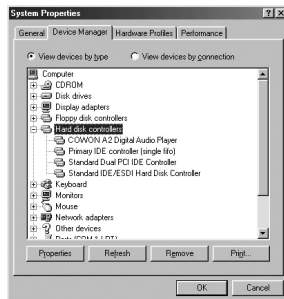
3. 次のように「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

4. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。

5. 「検索場所の指定(L)」を選択し、「参照」ボタンをクリックします。

6. 保証書の掲示がない場合

7. 検索位置が指定されたら「次へ」をクリックします。

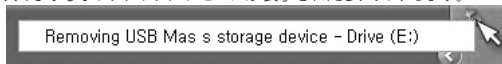
8.「完了」をクリックすると、ドライバのインストールが完了します。

9. Windowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

ファイルの保存と取り外し

1. COWON A2をコンピュータに接続した状態でWindowsエクスプローラを開くか、JetShellを実行します。

2.COWON A2に動画ファイルや音楽ファイルなどを保存します。

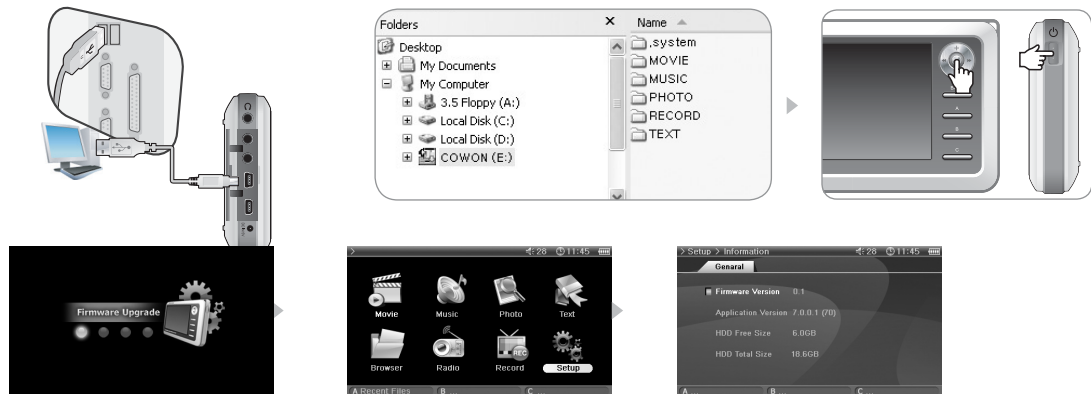
3.ファイルの保存が終わったらコンピ タのトレイに表示された アイコンをクリックします。

4.次のようなポップアップメッセージが表示されたらクリックします。

5.「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルを取り外します。

- 本製品はハードディスクを使用する製品で、ハードウェアの安全な取り外しを必ず確認してから取り外さなければなりません。
- 次のメッセージが表示されても製品に異常があるのではありません。しばらくしてからハードウェアの安全な取り外しを実行してください。

- ハードウェアの安全な取り外しが表示されないOSの場合は、すべての転送が終わった後、製品を取り外してください。
- MAC OSでは単純なファイル転送だけ可能です。

Firmware(ファームウェア)のアップグレード

Firmware(ファームウェア)とはハードウェアに内蔵されているプログラムで、アップグレードによって製品機能の向上や、問題点を解決することができます。ファームウェアを通じて性能やメニューが予告なしに変更されることがあり、一部のベータ版ファームウェアでは若干の誤動作が発生することがあります。

ファームウェアのアップグレード方法

1. ホームページ(www.cowonjapan.com)の資料室から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。
2. 付属のUSBケーブルでA2をコンピュータに接続します。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、A2の一番上位のフォルダ(Root)にファイルをコピーします。
4. 「ハードウエアの安全な取り外し」を行いコンピュータからA2を取り外します。
5. A2の電源がオフの状態でジョグレバーを押し、同時に電源ボタンを押すと、ファームウェアのアップグレードが始まります。
6. 正常にファームウェアのアップグレードが終了するとモード選択画面が表示され、「Setup(設定)」の「Information(情報)」でファームウェアのバージョンを確認できます。

- Systemフォルダが削除され起動ができない場合は、ファームウェアのアップグレードを行ってください。
- A2のハードディスクをフォーマットした場合にもファームウェアのアップグレードを行ってください。
- ファームウェアのアップグレードの前にバッテリを十分充電してください。
- ファームウェアのアップグレードが完了する前に絶対電源を切らないでください。
- ファームウェアのアップグレードの際、ハードウェアに保存されているデータが削除される可能性がありますので、重要なファイルはコンピュータにバックアップした後、ファームウェアのアップグレードを行ってください。バックアップしていないファイルの損失に対して(株)コウォンジャパンはは一切責任を負いません。

ファイルの実行

1. 本体にイヤホンを接続します。(スピーカで聞きたいときはイヤホンを接続する必要はありません)
2. 電源スイッチを長く押して電源を入れます。
3. 実行したいファイルをMovie(映画)、Music(音楽)、Photo(写真)、Text(テキスト)モードからレバー操作にて選択します。
4. レバーでカーソルを「+」「−」に動かし、実行したいファイルのあるフォルダでレバーを押して入ります。
5. 実行したいファイルを選択しレバーを押すと、ファイルを再生します。
6. 再生中にレバーを動かしてボリュームの調節や前のファイルまたは次のファイルへの移動、ファイルの検索を行えます。
7. 再生途中レバーを押すと一時停止し、再び押すと再生します。
8. 再生途中「BACK」ボタンを短く押すとファイルブラウザが表示され、再び押すとモード選択画面が表示されます。
9. 電源スイッチを長く押すと電源が切れます。

or
- Movie、Music、Photo、Textモードではそれぞれのモードで実行可能なファイルだけを表示します。
- 再生途中「BACK」ボタンを長く押すと、再生を停止します。
- 「Setup – Sound – General」の「Speaker」の設定が「Auto-Off」または「On」のとき、スピーカから音が出ます。
- 字幕は、動画ファイルと同じファイル名のsmiファイルが同じフォルダ内にあり、「Setup – Movie Player – General」の「Subtitle」の設定が「On」のときに表示されます。
- サポートしない規格の動画ファイルはJetAudio VXで変換して再生できます。

ボタンの使用方法

ボタン	説明
	• 電源が切れている状態で長く押すと、電源が入ります。 • 電源が入っている状態で長く押すと、電源が切れます。 • 短く押すと、LCDに電源が入るか、切れます。 • 製品の誤動作時に９秒以上押し続けると電源が切れます。
	• ファイルの再生中にはボリュームを上げます。 • ファイルブラウザおよび設定項目では上へ移動します。 • フォトビューアでは拡大画面のとき上部へ移動します。
	• ファイルの再生中にはボリュームを下げます。 • ファイルブラウザおよび設定項目では下へ移動します。 • フォトビューアでは拡大のとき下部へ移動します。
	• ファイルの再生中にはファイルの先頭または前のファイルへ移動します。 • ファイルの再生中に長く押すと、ファイルを検索できます。 • ファイルブラウザでは上位フォルダへ移動します。 • 設定項目では値を調整します。 • フォトビューアでは拡大画面のときの左側へ移動します。 • テキストビューアでは前のページへ移動します。
	• ファイルの再生中には次のファイルへ移動します。 • ファイルの再生中に長く押すと、ファイルを検索できます。 • ファイルブラウザのフォルダで押すと、そのフォルダの中に入ります。 • ファイルブラウザのファイルで押すと、ポップアップメニューを表示します。• 設定項目では値を調整するか、分類を移動します。 • フォトビューアでは拡大画面のとき右側へ移動します。 • テキストビューアでは次のページへ移動します。
	• ファイルの再生中に押すと、一時停止します。 • ファイルブラウザのフォルダで押すと、そのフォルダの中に入ります。 • ファイルブラウザのファイルで押すと、ファイルを再生します。 • 設定項目で押すと、設定した内容を適用します。 • フォトビューアで押すと、4倍まで拡大します。
BACK	• ファイルの再生中に押すと、ファイルブラウザが表示されます。• ファイルブラウザで押すと、モード選択画面が表示されます。 • ポップアップメニューと設定項目で押すと、キャンセルします。 • 長く押すと、映画、音楽またはラジオを停止します。
A B C	• LCD画面の下部に表示されるA、B、C動作を実行します。 Movie: A Change Mode / B ... / C Show Playlist Music: A Change Mode / B ... / C Show Playlist Radio: A Delete Preset / B Settings / C Start Record Browser: A ... / B ... / C Enable USB Host

※"BACK" button operates in all modes at anytime.

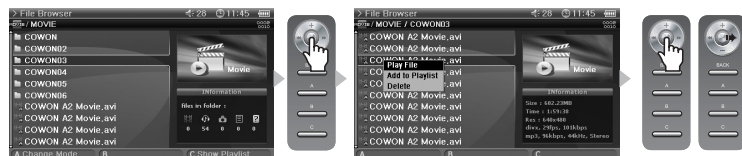
File Browser(ファイルブラウザ)の使用方法

A2には8つのモードがあり、Movie、Music、Photo、Text、Browserモードはファイルブラウザからなっています。

■ File Browserを開く

Movie、Music、Photo、Text、Browserモードでレバーを押して選択すると、ファイルブラウザが表示されます。
基本的にそれぞれのモードを選択すると、そのモードで再生できるファイルのみ表示され、Browserモードではすべてのファイルが表示されます。
ファイルの再生中に「BACK」ボタンを押してもファイルブラウザが表示されます。

■ File Browser項目の移動

項目の上下移動は「＋」「－」方向へレバーを押して行います。
フォルダの中へ入りたいときは、レバーを押すか、「>>」方向へレバーを押します。
フォルダから出たいときは、「<<」方向へレバーを押します。一番上位のフォルダの場合はモード選択画面へ移動します。

■ File Browser項目の選択

フォルダの場合、レバーを押すか「>>」方向へレバーを押すと、そのフォルダの中へ入ります。
ファイルの場合、レバーを押すと、そのファイルを再生し、「>>」方向へレバーを押すと、ポップアップメニューが表示されます。

■ File Browserのポップアップメニュー
ファイルで「>>」方向へレバーを押すと、それぞれのモードにあたるポップアップメニューが表示されます。
「＋」「－」方向へレバーを押して希望する項目を選択した後、レバーを押すか「>>」方向へレバーを押すと、選択されます。
「BACK」ボタンを押すと、ポップアップメニュがキャンセルされます。
Movie、Music、Textモードでは「Play File」「Add to Playlist」「Delete」メニューが表示され、Photoの場合は「Slideshow」「Set Wallpaper」が追加表示されます。
Browserモードの場合は「Play File」「Delete」メニューだけ表示されます。

■ File Browserを閉じる
「BACK」ボタンを押すと、File Browser画面を閉じ、モード選択画面へ戻ります。

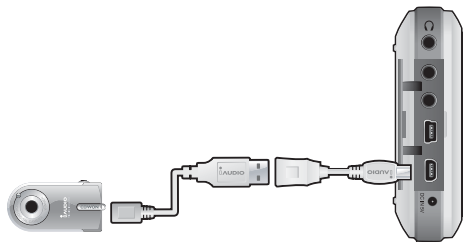
Playlist(プレイリスト)の使用方法

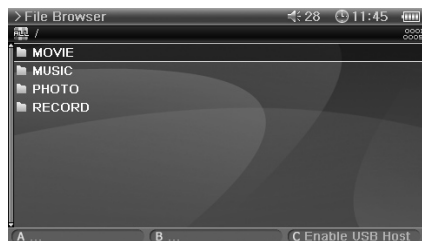
Playlist(プレイリスト)は再生したいファイルだけを集めて再生できる機能です。

■ Playlistを開く／閉じる、リストの切り替え
Movie、Music、Photo、Textモードのファイルブラウザで「C」ボタンを押すと、プレイリストが表示され、再び押すとプレイリストは消えます。
「B」ボタンでプレイリストとファイルリストを切り替えられます。

■ Playlistのファイルの追加と削除
プレイリストにファイルを追加するには、ファイルブラウザで追加したいファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させ、
「Add to Playlist」を選択します。
プレイリストからファイルを削除するには、プレイリストで削除したいファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させ、
「Delete」を選択します。
プレイリストのファイルをすべて削除したいときは、プレイリスト上で「>>」方向へレバーを押し、「Clear Playlist」を選択します。
プレイリストのファイルを再生する場合、再生が完了したらプレイリスト上の次のファイルを再生します。
Movie、Textモードの最大プレイリスト数は50個で、Music、Photoモードは最大100個です。

USB Host(OTG)の接続と使用方法

USB Hostは、USB互換機器（デジタルカメラ、iAUDIOなど）のファイルやフォルダをコピーするとき使用します。

■ USB Hostの接続

USB HostケーブルをA2のUSB HOST端子に差し込み、USB互換機器のUSBポートと接続します。

■ USB Hostのスタート

USB Hostをスタートするには、USB互換機器を接続した後、Browserモードで「C」ボタンを押します。
互換可能な機器であれば画面の右側にUSB互換機器のフォルダとファイルのリストが表示されます。
コピーしたいフォルダやファイルを選択し、「A」ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示され、動作を選択できます。
「B」ボタンを押すと、A2またはUSB互換機器のリストへ移動できます。
「C」ボタンを再び押すと、USB Hostモードが終了します。

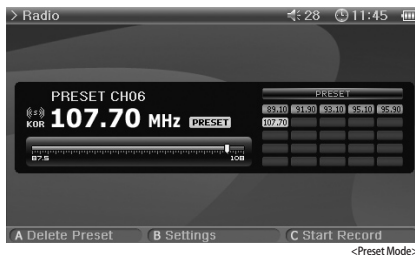
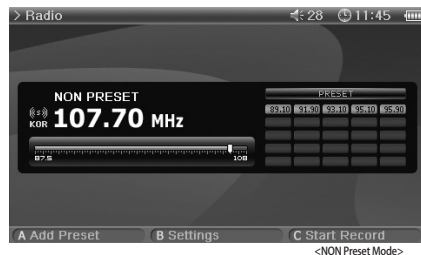
■ USB Host互換機器

UMSをサポートするデジタルカメラやMP3プレーヤなどと接続され、当社で検証済の互換機器についてはホームページ(www.cownjapan.com)の製品情報をご覧ください。

Radio(ラジオ)モードの使用方法

RadioモードはFMラジオを聴いたり録音したりするモードです。

<NON Preset Mode>

<Preset Mode>

■ Radioを聴く

Radioモードを選択すると、FMラジオを聴くことができます。
レバーを「<<」「>>」方向へ短く押してチャンネルを移動するか、長く押して検索することができます。
「BACK」ボタンを長く押すと、ラジオを停止します。

■ Preset(プリセット)の設定と使用

お気に入りの周波数で「A」ボタンを押すと、その周波数を保存します。
レバーを押すとプリセットモードとなり、レバーを「<<」「>>」方向へ押して保存された周波数を移動できます。
プリセットモードで「A」ボタンを押すと、保存された周波数を削除します。

Record(レコード)モードの使用方法

AVケーブルまたはLine-inケーブル、内蔵マイクを使って録画と録音を行えます。

■ ケーブル接続

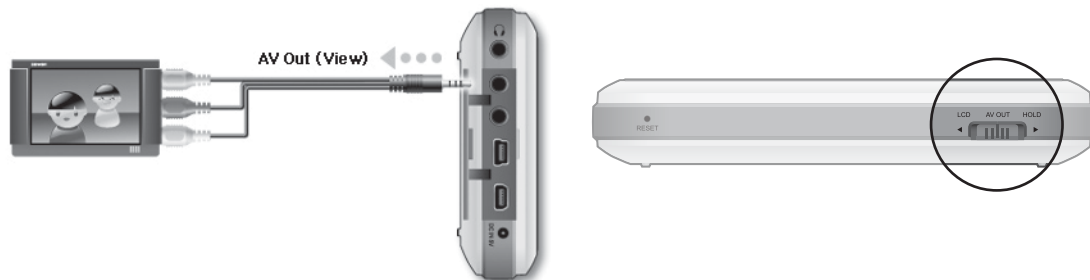
AVケーブルの場合、A2のAV IN端子と外部AV機器のAV OUT(Video OUT、Audio OUT)端子に接続します。
Line-inケーブルの場合、A2のAV IN端子と外部オーディオ機器のLine Out(またはイヤホン)端子に接続します。

■ 録画／録音

Recordモードを選択すると、4つのモード(Video、Audio、Radio、Built-in Mic)が表示されます。
録画／録音を行いたいモードを選択した後、「C」ボタンを押すと、録画／録音が始まります。
録画／録音されたファイルはMovie、Musicモードで再生できます。
録画中のVideo画面はLCDに表示されません。
録画／録音の時は通常時より多くバッテリを消耗するので、録音の前に十分充電してください。

■ 予約録画／録音
「Setup – System – Alarmモード」へ移動します。
3つのアラームモード(Movie Player、Music Player、FM Radio)と、4つの予約録画／録音モードがあります。
予約録画／録音モードを設定すると、指定された時刻に自動で電源が入り、指定された設定によって録画／録音が始まります。
詳しくは「4. Setup(設定)の機能説明」の「4. System(システム)」をご覧ください。

AV OUT(外部出力)の使用方法

AVケーブルを使って外部AV機器(TV、VTRなど)を接続できます。

■ ケーブル接続

付属のAVケーブルを機器のAV OUT端子と外部AV機器のAV IN(Video IN、Audio IN)端子に接続します。
AV機器のモードを外部入力チャンネルに変更します。(該当のAV機器のマニュアルを参考にしてください。
A2の下部のスイッチを「AV OUT」に切り替えると、画面が外部AV機器へ出力されます。

- 正常に出力できない場合は次を確認してください。
- 製品の下部のスイッチが「AV OUT」になっているか確認してください。
- 「Setup – Display – TV Standard」を正しくセットします。(NTSCまたはPAL選択)
- 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 入力端子と入力チャンネルが同じか確認してください。(外部入力1に接続する場合、外部入力チャンネル1に設定しなければなりません。

Wallpaper(壁紙)の使用方法

お気に入りのイメージで壁紙を設定できます。

■ Wallpaperの種類
480x272サイズのjpg、png、bmpファイルで設定でき、それより大きいイメージはResizeされ、小さいイメージはサイズされ、小さいイメージは画面の中央に配置されます。
但し、イメージの容量は最大100万ピクセルまでサポートします。

■ Wallpaperの設定
Photoモードで壁紙に設定するファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させた後、「Set Wallpaper」を選択します。
壁紙の設定ができない場合は、「Setup – Display – Wallpaper」でUseにを設定します。
但し、映画や音楽の再生中にはWallpaperを設定できません。

Setup(設定)モードの使用方法

Setupモードでレバーを押すと、8つのモードが表示されます。
設定を行いたいモードへ移動した後レバーを押すと、詳細設定画面が表示されます。
詳細設定画面での上下移動は「＋」「ー」方向へレバーを押して行い、値の設定は「<<」「>>」方向へレバーを押して行います。
詳細設定画面はモードに応じて数項目に分類され、分類間の移動は「<<」「>>」方向へレバーを押して行います。
項目を設定した後レバーを押すと、適用してからSetupモード設定画面へ戻ります。
「BACK」ボタンを押すと、設定中の値をキャンセルした後、Setupモード設定画面へ戻ります。
Setup項目についての細かい説明は「4. Setup(設定)の機能説明」をご覧ください。

1. Setup(設定)の一覧表

Display (ディスプレイ)	General(一般)	LCD Brightness(LCDの明度)
		TV Standard(TV標準出力方式)
	Wallpaper(壁紙)	Wallpaper(壁紙)
		Brightness(輝度)
		Preview(プレビュー)
	Appearance(外見)	UI Language(UI言語)
		Text Scroll Speed(テキストスクロール速度)
Sound(サウンド)	General(一般)	Speaker(スピーカ)
		Volume(ボリューム)
		LR Balance(左右バランス)
		Stereo(ステレオ)
	JetEffect (ジェットエフェクト)	Equalizer(イコライザ)
		BBE
		Mach3Bass
		MP Enhance
		3D Surround(3Dサラウンド)
System(システム)	General(一般)	Set Time(時刻設定)
		Boot Resume(ブートレジューム)
		Browser Resume(ブラウザレジューム)
	Alarm(アラーム)	Alarm Mode(アラームモード)
		Wakeup Time(ウェークアップ時刻)
		Duration(動作時間)
		Recurring Mode(アラーム動作日)
	Power(電源)	Sleep Timer(スリープタイマ)
		LCD Off(LCDオフ)
		動画ファイルの再生の時は動作しません。
		System Off(システム終了)

Information(情報)		
Movie Player (動画プレーヤ)	General(一般)	Aspect Ratio(画面比率)
		TV
		Subtitle(字幕)
		3 D Stereo(3Dステレオ)
Music Player (音楽プレーヤ)	General(一般)	Boundary(再生領域)
		Repeat(リピート)
		Shuffle(シャッフル)
	Display(ディスプレイ)	Lyrics(歌詞(LDB))
		Time Display(時間表示)
Radio(ラジオ)	General(一般)	Stereo(ステレオ)
		Region(地域)
Recorder(レコーダ)	General(一般)	Line-in Volume(ラインインボリューム)
		Mic. Volume(マイクボリューム)
		Mic. AGC(マイクAGC)
	Video	Video Quality(ビデオ品質)
		Audio Qualiy(オーディオ品質)
		Audio Channel(オーディオチャンネル)
	Audio(オーディオ)	Line-in Quality(ラインイン品質)
		Line-in Channel(ラインインチャンネル)
		Radio Quality(ラジオ品質)
		Radio Channel(ラジオチャンネル)
		Mic Quality(マイク品質)

2. Display(ディスプレイ)

General(一般)

LCD Brightness(LCDの輝度)
• LCDの輝度を調整します。1～9まで調整できます。
TV Standard(TV標準出力方式)
• TV出力方式を設定します。NTSCとPAL規格を選択できます。

Wallpaper(壁紙)

Wallpaper(壁紙)
• 壁紙を選択できます。
Brightness(輝度)
• 壁紙の輝度を調整します。-9～9まで調整できます。
Preview(プレビュー)
• 現在設定されている壁紙が表示されます。
• 壁紙を設定するにはPhotoモードで壁紙に使いたいファイルのポップアップメニューを表示させ、「Set Wallpaper(壁紙設定)」を選択して行います。

Appearance(文字表示)

UI Language(UI言語)
• UIに使用する言語を選択できます。
Text Scroll Speed(テキストスクロール速度)
• File Browserで表示されるテキストのスクロール速度を調整します。

3. Sound(サウンド)

General(一般)

Speaker(スピーカ)
- 内蔵スピーカの設定を行います。
- 「Off」にするとスピーカから音が出ず、「Auto-Off」にするとイヤホンを差し込むと場合スピーカから音が出ません。「On」にするといつもスピーカから音が出ます。

Volume(ボリューム)
- ボリュームを調整します。0〜40まで調整できます。
- 再生画面で「+」「−」で調整できます。

LR Balance(左右バランス)
- スピーカとイヤホンの左右のバランスを調整します。

Stereo(ステレオ)
- 「Stereo」または「Mono」に設定できます。

JetEffect(ジェットエフェクト)

Equalizer(イコライザ)
- すでに設定されているか、ユーザが直接5バンドEQを設定できます。

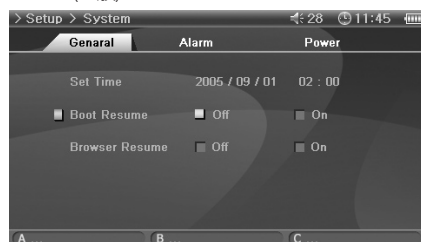
BBE
- BBEは音を鮮明にする音場効果です。

Mach3Bass
- Mach3Bassは超低域を強調してくれるベース増幅機能です。

MP Enhance
- MP Enhanceは損なわれた音域を補正してくれる音場効果です。

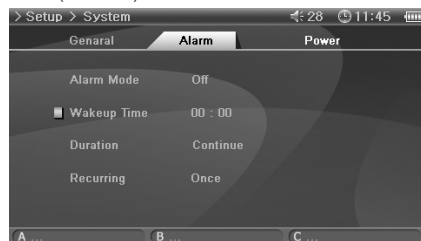
3D Surround(3Dサラウンド)
- 3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

4. System(システム)

General(一般)

Set Time(時刻設定)
- 現在の時刻を設定する機能です。

Boot Resume(ブートレジューム)
- 「On」に設定すると、前回再生していたファイルの続きから再生します。

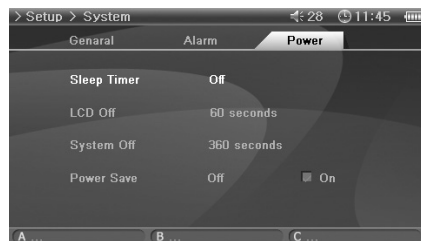
Browser Resume(ブラウザレジューム)
- Browserの位置を記憶し、次回の実行時に選択した位置へカーソルが移動します。

Alarm(アラーム)

Alarm Mode(アラームモード)
- アラームモードを選択します。
- Movie Player、Music PlayerおよびFM Radioの場合、指定した時刻になると自動的に電源が入り、最後に再生したファイルまたは周波数を再生します。
- Record設定の場合、指定した時刻になると自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音の時は通常より多くバッテリを消耗しますので、録音の前に十分充電してください。
- Record設定の場合、通常より多く電力を消費します。電源が十分か確認してください。

Wakeup Time(ウェークアップ時刻)
- アラーム時刻を設定します。

Duration(動作時間)
- アラーム動作が持続する時間を設定します。指定した時間が経過すると、自動的にアラーム動作が停止します。

Recurring Mode(アラーム動作日)
- アラームの動作日を設定します。
- 「Once」にするとアラームは一回のみ動作します。「Daily」にすると毎日、「Weekdays」にすると月曜日から金曜日までアラームが動作します。

Power(電源)

Sleep Timer(スリープタイマ)
- 消費電力を減らすため、事前に設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れる機能です。
- 設定した時間が経過すると、使用中でも電源が切れます。

LCD Off(LCDオフ)
- 消費電力を減らすため、事前に設定した時間が経過すると、LCDの電源が切れます。
- 電源スイッチを押すとLCDに電源が入ります。動画ファイルの再生の時は動作しません。

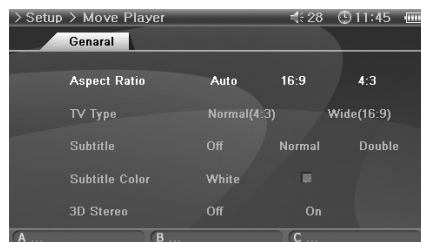
System Off(システム終了)
- 機器が停止している状態で設定した時間の間操作がない場合、自動的に電源が切れる機能です。
- ファイルの再生の時は動作しません。

5. Information(情報)

General(一般)

Firmware Version
• 現在のファームウェアのバージョンです。
Application Version
• 現在のソフトウェアのバージョンです。
HDD Free Size
• ハードディスクの空き容量です。
HDD Total Size
• ハードディスクの全体容量です。

6. Movie Player(動画プレーヤ)

General(一般)

Aspect Ratio(画面比率)
• 動画ファイルの画面比率を選択します。
• 「Auto」にすると元データの比率を使用し、16:9および4:3の場合は元データの比率を無視し、指定した比率で表示します。
• 4:3の比率はAV OUTのとき使用してください。
TV
• Normal/Wide
Subtitle(字幕)
• 字幕(.smi)ファイルがある場合、字幕を表示します。
• 表示する字幕(.smi)ファイルは、動画ファイルと同じファイル名で、同じフォルダ内に存在しなければなりません。
3 D Stereo
• Off/On

7. Music Player(音楽プレーヤ)

General(一般)

Boundary(再生領域)
• ファイルやフォルダなどに対して再生領域を設定できます。
• 「ALL」の場合全曲を再生し、「Folder」の場合は選択したフォルダ内のファイルのみ再生します。
• 「Sub-folder」の場合選択したフォルダのファイルおよびサブフォルダまで再生し、「Playlist」の場合Playlistに設定されたファイルのみ再生します。
• Playlistの曲を再生する場合自動的にBoundaryはPlaylistに変更され、再び一般フォルダの曲を再生すると自動的に前のBoundaryへ戻ります。

Repeat(リピート)
• Boundaryで指定した範囲内でリピートするかを設定できます。
• 「On」にすると範囲内のすべての曲の再生が完了した時点でリピート再生され、「Current」にすると一曲だけを再生します。

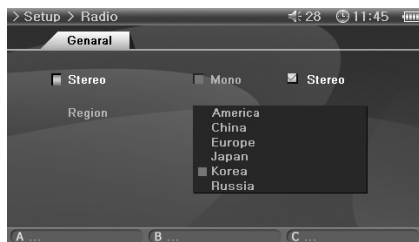
Shuffle(シャッフル)
• Boundaryで指定した範囲内でランダムに再生するかを設定できます。
• 「On」にすると、範囲内で次の曲がランダムに選択され再生されます。

Display(ディスプレイ)

Lyrics(LDB(歌詞))
• 歌詞が入力されている音楽ファイルの歌詞の表示について設定できます。
• 「On」に設定しても歌詞が入力されていないと歌詞は表示されません。
• 歌詞の入力についてはホームページ(www.cowonjapan.com)の初心者ガイドをご覧ください。

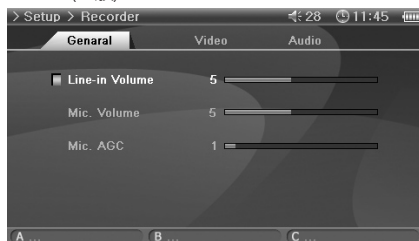
Time Display(時間表示)
• 再生される音楽ファイルの時間の表示について設定できます。
• 「Elapsed」にすると経過した再生時間を、「Remain」にすると残っている再生時間を表示します。

8. Radio(ラジオ)

General(一般)

Stereo(ステレオ)
- FM Radioをステレオで聴くかモノラムで聴くか選択できます。
- 但し、モノラムだけをサポートする放送の場合は、「Stereo」を選択してもモノラムで放送されます。
- 「Stereo」に設定したとき、雑音が聞こえる場合があります。その場合は「Mono」にして使用してください。

Region(地域)
- FM　Radioを受信する国を選択できます。

9. Recorder(レコーダ)

General(一般)

Line-in Volume(ラインインボリューム)
- AV IN端子へ入ってくるボリュームを調節します。

Mic. Volume(ボリューム)
- 内蔵マイクへ入ってくるボリュームを調節します。
- 数値が大きくなるほど音が増幅します。

Mic. AGC(マイクAGC)
- 自動で録音される音の高低を一定に調節します。
- 数値が大きくなるほどもっと敏感に反応します。

Video(ビデオ)

Video Quality(ビデオ品質)
- Video録画のときAV IN端子で録画されるビデオファイルの品質を設定します。
- 解像度とbpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

Audio Qualiy(オーディオ品質)
- Video録画のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルの品質を設定します。
- bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

Audio Channel(オーディオチャンネル)
- Video録画のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルのチャンネルを設定します。

Audio(オーディオ)

Line-in Quality(ラインイン品質)
- Audio録音のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルの品質を設定します。
- bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

Line-in Channel(ラインインチャンネル)
- Audio録音のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルのチャンネルを設定します。

Radio Quality(ラジオ品質)
- Radio録音のとき録音されるファイルの品質を設定します。
- bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

Radio Channel(ラジオチャンネル)
- Radio録音のとき録音されるファイルのチャンネルを設定します。

Mic Quality(マイク品質)
- 内蔵マイクで録音されるファイルの品質を設定します。
- bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

Hardware

一般	サイズ	133.4(W)x78.5(H)x22(T)mm
	重さ	298g (20G/30G共通)
	動作温度範囲	0℃ ~ 40℃
ビデオ	ディスプレイ	4インチ、480x272解像度、0.183mmピクセルピッチ、1600万カラーデジタルTFT LCD
	ビデオフォーマット	NTSC/PAL
オーディオ	チャンネル	ステレオ
	周波数範囲	20Hz ~ 20KHz
	ヘッドフォン出力	ステレオ、左 32mW + 右 32mW (16W イヤホン)
	信号対雑音比	95dB
	内蔵スピーカ	ステレオ、左 125mW + 右 125mW
	内蔵マイク	感度(sensitibity) : 40dB
FMラジオ	周波数範囲	76~108 MHz(国別周波数調整、25局のプリセットサポート)
	信号対雑音比	60dB 内蔵スピーカ
アンテナ	イヤホンコードアンテナ 電源供給	内蔵バッテリ リチウムポリマー 4300mAh
	バッテリ充電時間	ACアダプタ接続後約5時間
	ACアダプタ	DC 5.0V、2A
記憶装置	ハードディスク	1.8インチ20G / 30G、FAT32ファイルシステム
USB Interface	USB Interface	USB 2.0 High Speed (最大 480Mbps)
	USB Host	USB 2.0 Full Speed (最大 12Mbps)
コンピュータ使用環境	Windows XP / 2000 / ME / 98SE FAT32ファイルシステム DirectX 9 or higher Windows Media Player 9 or higher QuickTime 6 or higher	

Applications

-Application specifications may change according to performance improvements.

Movie Player	File format	AVI、ASF、WMV ビデオコーデック
	Video codec	DivX 3.11/4/5, XviD, MPEG-4 SP, WMV9 MP@LL 注1
	ビデオ解像度	最大 720x576、30 fps
	Audio codec	MP3、AC3 6.1チャンネルダウンミックス、WMA
	Audio resolution	最大 48KHz、448 Kbps
	字幕	SMI形式
	連続再生時間	最長 9時間30分 注2
Music Player	File format	MP3、WMA(ASF)、OGG、WAV
	Audio codec	MPEG 1 Layer 3、MP3 Pro、WMA(ASF)、Ogg Vorbis、Wave
	Audio resolution	8Kbps ~ 1.4Mbps (OGGはQ10までサポート)
	ID3 Tag	ID3 V1、ID3 V2.2/V2.3/V2.4
	歌詞	LDB
	EQ	5バンド、7セット(Normal、Rock、Jazz、Classic、Pop、Vocal、User)
	音場	ジェットエフェクト(BBE、Mach3Bass、MP3 Enhance、3D Surround) 注3
	視覚効果	サウンドスペクトラム 注3
	音楽再生時間	最長 17時間 注4
Photo Viewe	File format	JPG, BMP, PNG
	解像度	JPG – 最大 400万ピクセル PNG – 最大 300万ピクセル BMP – 最大 400万(24bit)、600万(16bit)、1200万(8bit)ピクセル
Text Viewer	File format	TXT (EUC-KR(韓国語)、EUC-JP(日本語)、GB2312(中国語簡体)、Big5(中国語繁体) 、ISO-8859-1(ラテン))

注1 MPEG4のQPEL(Quarter-pixel Motion Estimation)またはGMC(Global Motion Compensation)オプションが使われたビデオは再生できません。WMV9ビデオはMain Profile-Low Level形式の352x288解像度をサポートします。
注2 ビデオ : 480x272 / 24fps、オーディオ : 44KHz / 128Kbps、ボリューム 20、イヤホン使用時
注3 OGG再生には適用されません。
注4 オーディオ : MP3 / 44KHz / 128kbps、ボリューム 20、イヤホン使用時、LCD Off

Record

- Recordの仕様は性能改善によって変更されることがあります。

AVレコーディング	ファイルフォーマット	ASF
	ビデオコーデック	MPEG4
	オーディオコーデック	MPEG-1 Layer 3
Line-in、Mic., Radioレコーディング	ファイルフォーマット	MP3
	オーディオコーデック	MPEG-1 Layer3
	オーディオ解像度	{0>最大 44.1kHz、192KbpsMax. 44.1kHz、192 Kbps<0}

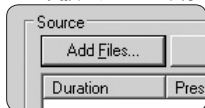
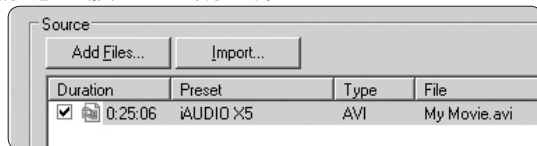
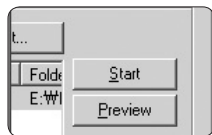
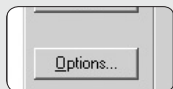
インストールCDプログラムについて

インストールCDには世界的に有名な統合マルチメディアプログラムのJetAudio VXとマネージャプログラムのJetShellが収録されています。また、A2ソフトウェア、サンプルマルチメディアファイル、Windows 98 SE用ドライバファイルなども収録されています。

JetAudio VXによるファイル変換

1. JetAudio VXをインストールし、実行します。

2. 動画ファイルの変換のために上部の「Convert Video」をクリックします。

3. ビデオ変換ウィンドウが表示されたら「Add　Files」を選択し、変換したい動画ファイルを読み込みます。

4. 読み込んだ動画ファイルを確認します。

5.保存先とプリセットを確認した後、右上の「Start」ボタンをクリックし、変換を始めます。

- 「Preview」をクリックすると、保存せず変換画面を確認できます。
- 字幕をともに変換するか、設定を変更したい場合は「Source Option」をクリックします。

- すべてのファイルが変換できるわけありません。また、変換されても損傷のあるファイルの場合はA2で再生できない可能性があります。

Symptom	Explanation
電源が入らないか、動作しません。	• 諳 内蔵バッテリが放電されている場合、アダプタで十分充電してから使用してください。 • 諳 一定時間充電した後も電源が入らない場合は、製品の下部の「RESET」ボタンを押した後、再び電源を入れてください。 • 諳 Systemフォルダが削除されている場合、ファームウェアのアップグレードを行った後使用してください。 • 諳 製品の下部のスイッチが「HOLD」の位置か確認します。「HOLD」の位置ですと、電源ボタンが機能しません。
電源を入れても画面が表示されません。	製品の下部のスイッチが「AV OUT」の位置か確認します。「AV OUT」の位置にある場合は、「LCD」の位置に変更してください。
ボタンが機能しません。	製品の下部のスイッチが「HOLD」の位置か確認します。「HOLD」の位置ですと、ボタンが機能しません。
スピーカから音が出ません。	• 諳 「Setup – Sound – Speaker」で「Auto-Off」または「On」に設定されているか確認します。「Off」に設定されていると、スピーカから音が出ません。 • 諳 ボリュームが「0」になっていないか確認し、ボリュームを適切に調節します。
映画や音楽の再生のときボタン操作に対する反応が遅いです。	諳 バッテリの消耗を減らすため低電力モードで動作しているためです。3〜4秒が経過すると一般モードで正常動作します。
FMラジオが聴けません。	• 諳 ビルの内部または地下鉄、移動中の車の中などユーザの位置によってFMの受信感度が低下し、放送の受信状態が悪くなることがあります。また、電波の影となる地域では聴けない可能性があります。 • 諳 イヤホンが接続されているか確認してください。本製品は別途のアンテナがなく、イヤホンをアンテナとして使用します。
録音したものから雑音がします。	諳 本製品は小型のハードディスクを使用しているモデルなので、録音時に雑音が含まれることがあり、デジタル機器の特性上録音された音がよくないことがあります。
動画ファイルが再生できません。	諳 動画ファイルをコンピュータで再生できるか確認してください。コンピュータで正常に再生できましたら、JetAudio VXで変換して使用してください。
保存したファイルが見つかりません。	諳 それぞれのモードでは再生可能なファイルのみ表示されます。保存されているすべてのファイルが見たいときは、Browserモードを選択してください。
コンピュータが製品を認識しません。	• 諳 本製品はWindows 98 SEでは別途ドライバのインストールが必要です。 • 諳 USBハブなどを使用せず、コンピュータ本体のUSBポートに製品を接続してください。
ハードディスクの容量が実際より少なく表示されます。(例：20GBなのに18.6GBと表示)	諳 20GB製品の場合、18.6GB位と表示されると正常製品です。これはハードディスクのメーカとコンピュータが認識する容量の違いによるもので、これ以外にも製品の正常な起動に必要なシステム領域を除くと実際表示される容量は多少減る可能性があります。
ルート(Root)フォルダに数百個のファイルを保存したら製品が誤動作します。	本製品のハードディスクではFAT32が使用されています。FAT32には制限があるため、ルート(Root)ディレクトリの中にファイルをたくさん入れることは控えてください。

株式会社　コウォンジャパン サポートセンター
住所：〒113-0033東京都文京区本郷3-2-3TIKビル5階
サポートセンター：03-5805-6054(土日、
祝祭日を除く10：00~12：00、13：00~17：00)
ホームページ：www.cowonjapan.com